



ともにある学校を目指して

子供たちは、様々な出逢いや経験をすることによって成長していきます。学校で色々な講演会や教室、部活動の練習試合、林間学校や修学旅行、職場体験、かえで支援学校や小学校との交流等をするのもそのためです。コミュニティ・スクールが来年度からスタートすることも踏まえて、地域との交流ももっとしていきたいところなのですが、コロナ禍により、実現が難しいこともたくさんあります。しかし、コロナ禍3年目を迎え、10月の授業参観の実施のように動き出せるようになったこともたくさんあります。

11月15日(火)、2年生と希望した保護者の方を対象としたドリームキャンパスを実施しました。多くの子供たちにも観てもらおうと、1年生にはリモートで中継をしました。この行事は甲府市の主催で、毎年、「夢」先生に学校に来ていただいて、子供たちに将来に向けたお話をさせていただくものです。今年の先生は、お笑い芸人のサツマカワRPGさんでした。サツマカワさんは本校の卒業生で、中学生の頃は勉強を頑張ることはもちろん、学年生徒会役員としても活躍していました。そんな彼がなぜお笑い芸人になったのか、後輩に向けて、ギャグも交えながら想いを伝えていただきました。お笑いが好きであったこと、夢はもっていなかったが、だからこそ自分の目の前にあること、できることに一生懸命と取り組んでいたら、道が拓けてきたこと、勉強することの大切さ等について、話していただきました。終始笑顔のあふれる講演会で、子供たちにも良い影響があったように思いました。

11月19日(土)には、2年間実施できなかった、来年度の入学生を招いてのオープンスクールを実施しました。例年のように、入学生の保護者の皆さんに校内に入ってくださいことはできなかったのですが、入学生に、生徒会の作成した学校の様子を説明したビデオを観てもらったり、授業の様子、部活動の様子を観てもらいました。少し緊張した入学生の様子、案内をする大人びた生徒会役員の様子から、中学校らしい縦の結びつきができた良い時間を過ごせたように思いました。

ありがたく感じたのは、どちらの行事にも、PTA 研修部員や常任委員、保護者の皆さんのご協力があったことです。子供たちは、保護者の皆さんの姿からも学ぶことがあったように思います。地域とともにある学校を目指すため、これからもご協力をよろしくお願いします。



クラス合唱の意味

11月10日(木)、1年生が人権教室を行いました。その中で講師の方が、全ての人を大切にすること、社会では、誰かがやらなければいけないことを誰かがやってくれていて、感謝の気持ちを忘れてはいけないこと等、話してくれました。義務教育のまとめである中学校生活を通しての大きな目標は、大人になることだと思います。成長するにつれて、見えなかったものが見えるようになり、視野が広がっていきます。

中学校で取り組むクラス合唱にも、まさしく同じねらいがあります。ソプラノ、アルト、テノール、バス、それぞれ違うパートで違う音を奏でます。指揮者や伴奏者の努力や支えを感じながらみんなで一つの作品をつくります。それぞれの立場ですることは違いますが、協力して、発表会という1回きりの緊張の本番をのりこえます。もちろんそこには担任の先生の想いも重なり、歌声が響くと、聴き手も巻き込み、うねりのような感動が生まれます。

11月11日(金)に3年生、17日(木)に2年生が合唱発表会を行いました。コロナ禍であり、マスクを着けたまま等制約はありましたが、どのクラスも今のクラスの様子を伝えてくれる懸命な合唱を発表してくれました。並び方の工夫、アレンジ、体で表現する様子、男子の力強い声、女子の透き通った声、バランスの良さ、言葉を大切にしている様子、どれもクラスのこだわりであり、クラスのいぶきでした。合唱を聴きながら、人知れず涙を流す担任の



先生もいました。2年生の発表の後、宮田先生が講評の中で「合唱は響きの集まり。どんな小さな声でも、だれ一人欠けても違うものになる。」と話してくれました。みんなで成長し大人に近づくことができる大切な取組、合唱。だから合唱が大好きです。

12月14日(水)には、1年生が発表会を行う予定です。1年生らしいチャレンジ、健闘を期待しています。

進路＝心路

11月は県内の様々な場所に、部活動の新人大会の応援にでかけました。1年前もそうであったことを思い出すと、その時活躍の中心にいた3年生がもう進路決定の時を迎えようとしていることに、改めて時の流れの速さを感じます。11月9日(水)に進路説明会、15日(火)から18日(金)にかけて進路相談が行われました。

入試は、受検当日一人で挑みます。でも、そこに行き着くまでの道のりは、生徒、教師、みんなで取り組みます。不安になりがちな時期ですが、不安に打ち克ち勉強に取り組む姿勢をみんなで作ります。それが、「受検はチーム戦」と言われる所以です。

そして、大切なのは、保護者の皆さんも、そのチームの大切なメンバーであるということです。15歳の春を笑顔で迎えるために、みんなががんばっていきましょう。

